



世界的な景気後退の影響で受注減が続く、県内ものづくり中小企業等の受注の安定化を図るため、首都圏取引支援の強化・新規取引先の開拓及び各種商談会・展示会等を実施し取引あっせんを迅速に行います。また、業種別では、本県戦略産業に位置づけられている自動車関連産業及び半導体産業の生産性向上を図るための工程改善研修会等の事業や組込みソフトウェア開発関連企業の研修や取引あっせんを行います。

ものづくり中小企業等を対象とした11コースの人材育成研修を「いわてものづくりアカデミー」として開催します。なお、新規に「品質管理中級セミナー」「工程カイゼン中級セミナー」「原価低減導入セミナー」の3コースを開催します。

なお、本年度よりグループ内にチームを置き、事業推進の迅速化を図ります。



I 取引・人材育成チーム

1 受・発注取引の支援

- 東北及び関東地区等県外の発注企業に対し、新規発注動向調査を年2回(10,000社)を実施し、回答企業のうち発注可能な企業を選定して200社を目標に発注開拓の訪問を実施します。また、県内発注企業約100社を対象に「外注ニーズ調査」及び発注開拓を実施します。
- 専門調査員(アドバイザー)を置き、県内150社を目標にして新規発注案件情報を収集するほか、受注企業からの経営相談等に応じます。
- 商談会は県内2回と東京1回を開催します。東京での商談会については、北東北3県(青森県・秋田県・岩手県)の支援機関が合同で開催します。
- 首都圏に営業所を置く県内受注企業間のネットワーク化を図り、営業支援や情報交換・交流事業を行います。[新規]
- 県内受注企業300社を目標に企業巡回を実施し、個々の企業の特徴・稼働状況を把握して発注案件に迅速に対応します。

2 医療関連機器産業の創出推進

- 医療機器メーカーの取引ニーズを把握し、地域企業との取引マッチング支援を行い医療機器製造分野への新規参入の支援を行います。
- いわて医療機器事業化研究会の活動支援を行います。

3 展示会商談会への支援

- 自社製品、独自技術等を有する県内中小企業の取引拡大を目的に、首都圏で開催される国内最大級の展示会として実績がある機械要素技術展への共同出展支援や専門展示会への出展を支援します。

4 人材の育成支援

- ものづくりアカデミーやいわて起業家大学を開催します。詳細については先月号やホームページで紹介しておりますので、ご覧ください。

II 産業集積チーム

1 自動車関連産業の創出推進

- 工程改善等の定着化を推進するため、コーディネーターを配置し、昨年に引き続き自動車関連産業に加え半導体関連産業も対象とします。コーディネーターは工程改善研修会のグループを实地指導いたします。
- 工業技術集積支援センターに「いわて産業振興センター北上サテライト」を開設します。サテライトにはコーディネーターを配置し、自動車関連産業の経営改善向上のため「改善スキルアップ研修」を工業技術集積支援センターと連携して支援します。[新規]
- 自動車関連産業の展示商談会や取引あっせんを県や東北5県の支援機関と連携して行います。
- 県内企業が持っている自動車関連産業に有効な特殊技術、設備等を現地訪問等により調査し、その結果に基づき、企業データベースの整備・充実を図り、積極的に有用な情報を自動車関連メーカー等に提供し、新規取引の促進に努めます。

2 ソフトウェア開発業務取引の支援

- 県内IT関連企業の取引拡大を図るため、首都圏在住のIT関連企業OBを「取引サポーター」として配置し、首都圏市場の発注開拓を行い、センターがIT関連企業へ取引あっせんを行います。
- 首都圏の業界団体と県内IT関連企業とのマッチングを行う交流会を開催し、新規取引先開拓の強化を図ります。[新規]
- 組込み総合技術展への出展補助を行うほか、「いわて組込み技術研究会」を継続開催し、産学官の連携・交流を行い、技術の高度化・新市場への参入を促進し、取引拡大を支援します。



3 半導体関連産業創出の推進

- 本県の中核的産業を担う半導体関連産業の集積育成を図るため、新たにコーディネーターを配置し、関連発注企業のニーズ把握と新規発注情報の収集を迅速に行い、半導体関連産業取引拡大の強化を図ります。
- 半導体関連産業の国内最大規模の展示会や企業内覧会に関係機関と連携のうえ出展し、新規取引先開拓を支援します。

